



#1 Coating Technology in The World
Molecule Gradient Layer (MGL)TM Technology

一般両面テープのスタンダード

不織布基材両面テープ

201

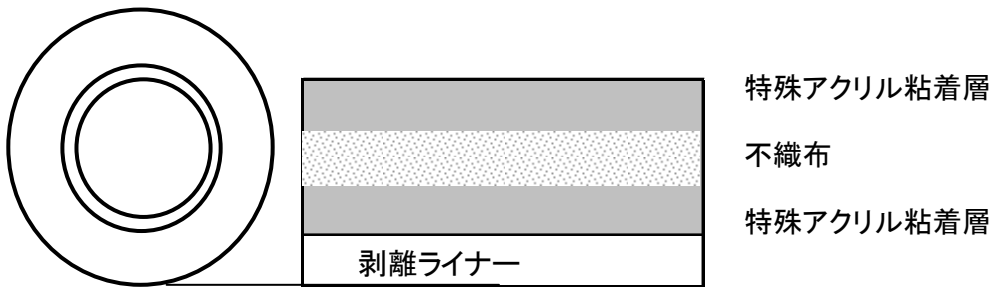
特徴

- ①基本的な接着性能を備えたスタンダードの両面テープです。
- ②金属に限らず、各樹脂へも良好な性能発揮
- ③耐反発性に優れています。

用途

銘板、金属板、プラスチック板等の一般接着用
各種フォーム材との貼り合せ用

構造



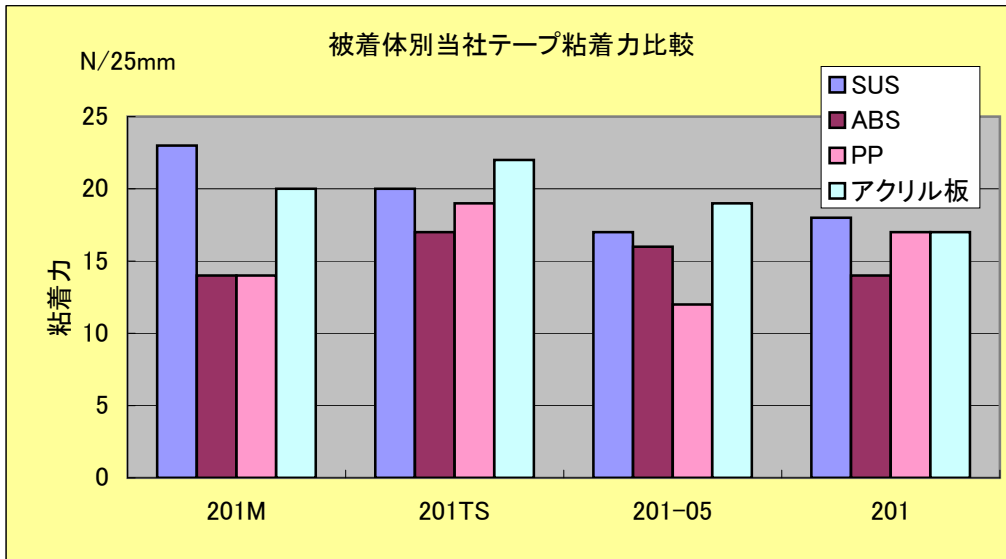
特性

1. 基本特性

製品名	厚み (mm)	粘着力 (N/25mm)
201	0.12	16

*PET#25裏打ち 被着体:ステンレス
貼り付け後、24時間放置
引張り速度 300mm/min 180度ピール

2. 被着体別当社他品番との粘着力比較



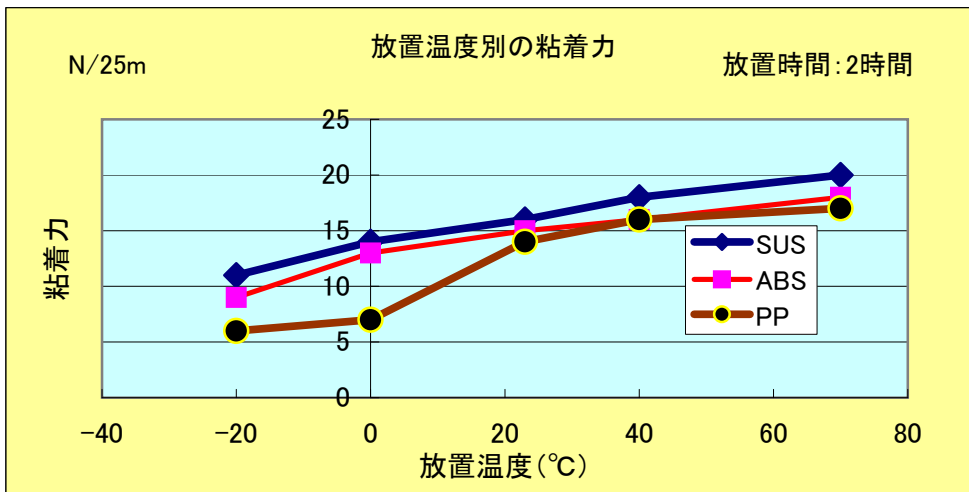
201は、被着体による粘着力差が少なく、バランスのとれた粘着性能を持っています。

3. 高温・低温放置後粘着力変化

試験条件

所定の温度雰囲気下にて、所定の被着体に貼り付け

試験体を、2時間放置後、室温にて測定。(試験条件は、1と同様)

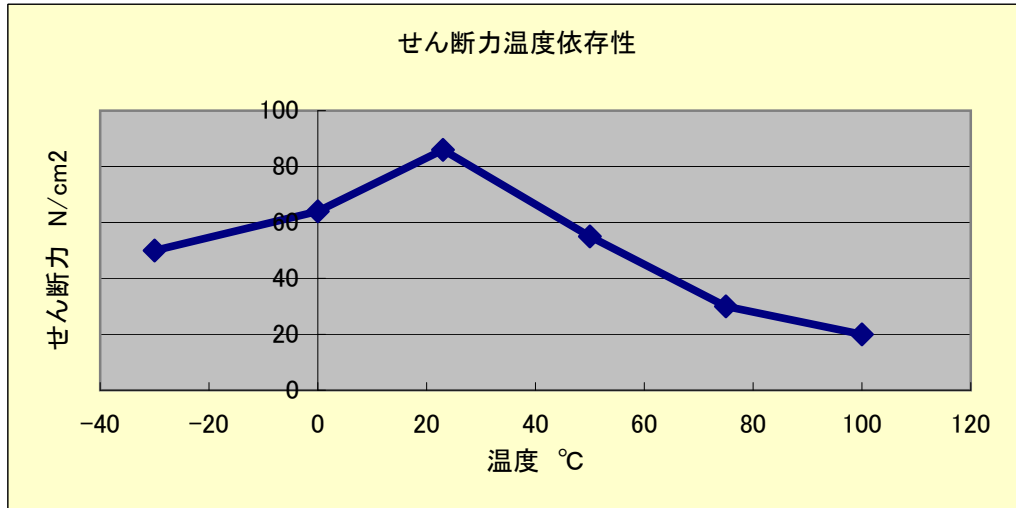
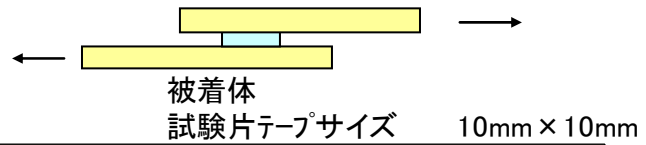


室温より高温(80°C)側では、粘着力は室温と同等以上ですが、低温側(-20°C)では、室温より低い粘着力を示す傾向です。

4. 温度別せん断力特性

試験条件

10×10mmにカットした試験体の両面に被着体を貼り合わせ2kgロールで2往復圧着し、各温度雰囲気下に40分放置し、取り出してすぐに200mm/minの速度で引張りせん断強度を測定する。



室温にて最大せん断力を示します。

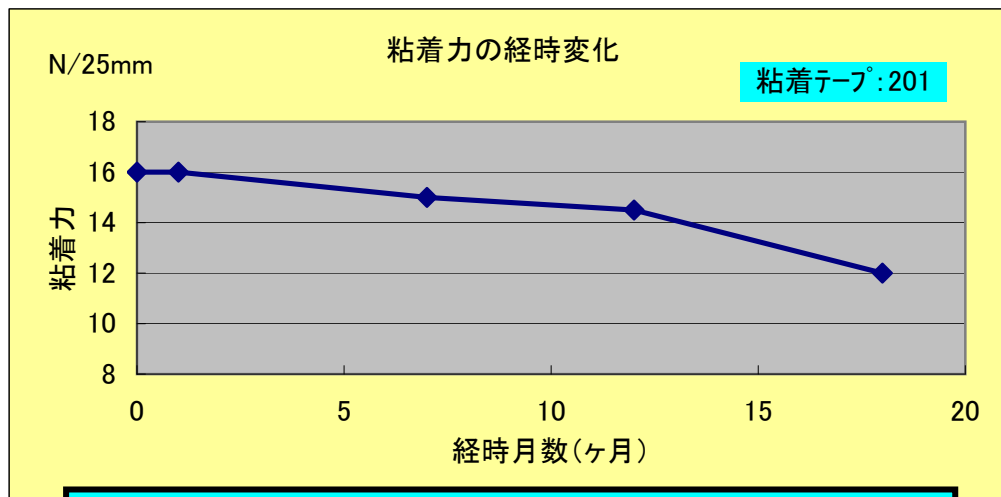
5. 定常保管状態での粘着力変化

試験条件

試験体を密封下状態で、常温(23°C)保管。所定の期間後取り出して、試験体特性測定。

25mm幅にカットした試験体を被着体(SUS)に貼り合わせ2kgロールで2往復圧着し、

常温で30分放置した後、300mm/分の速度で180度剥離強度を測定する。



室温放置において、粘着力は、6ヶ月ではほとんど変化しません。ただ、12ヶ月を過ぎると、約10%、18ヶ月では、約20%低下します。

ご使用上の注意

- 技術資料は全て共同技研化学(株)の研究室で行われたテストと実測値を基準に作成されております。
但し、製品特性は環境や被着体によって大きく変わることがあります。
したがってこれらの特性データにつきましては参考値であり、保証値ではありません。
ご使用される前にこの製品が使用用途・環境に適しているかお確かめの上ご使用ください。
- 上記測定は、室温(23℃)下にて行われたデータです。低温(5℃以下)の場合、粘着力は、急激に低下する場合があります。

保管の注意

- 必ず箱に入れて保管してください。
- 保管場所は、直射日光の当たらない冷暗所を選んでください。
特に、高温高湿下(温度30℃以上 湿度50%以上厳禁)にさらさないでください。

共同技研化学株式会社
〒359-0011
埼玉県所沢市南永井940番地
TEL 04-2944-5151

2011年11月28日 発行